

YU シェアハウス経由 山大スクールバス

代表者 森田彩貴 (国際B 4年)
構成員 中村咲良 (国際B 3年) 蒲原奈々子 (国際B 3年) 實森真琴 (国際B 3年)
林高輝 (国際B 3年) 吉本陽氣 (国際B 3年)

1. 活動概要

私たちは、YU シェアハウスに住んでいる留学生の力になりたいとの強い思いで発足したプロジェクトです。メンバーは、国際総合科学部の4年生1名、3年生5名、6名です。

YU シェアハウスとは、主に山口大学国際総合科学部に交換留学で来る留学生が住んでいる寮の名称です。山口大学から自転車で30分ほどかかる場所に位置しています。そのため、特に自転車に慣れていないような留学生や、今まで公共交通機関で通学していたような留学生など、留学生によっては、通学がとても不便であるという現状があります。特に、梅雨や降雪の時期は、自転車に乗れない場合もあるため、その場合は数少ないバスを使うか、1時間近くかけて歩くという手段しかなく、これらの季節には、通学が極めて不便かつ困難です。

さらに、国際総合科学部には、日本人学生1人と留学生1人がパートナーを組む、バディー制度があります。そのバディーであるパートナーからも、留学生活で困っている点として、「通学の不便さ」がよく挙がっていました。

したがって、留学生が一番困っていると思われる「通学の不便さ」を解消すべく、寮から大学まで、スクールバスを通すことはできないのかと思い、この活動を始めました。

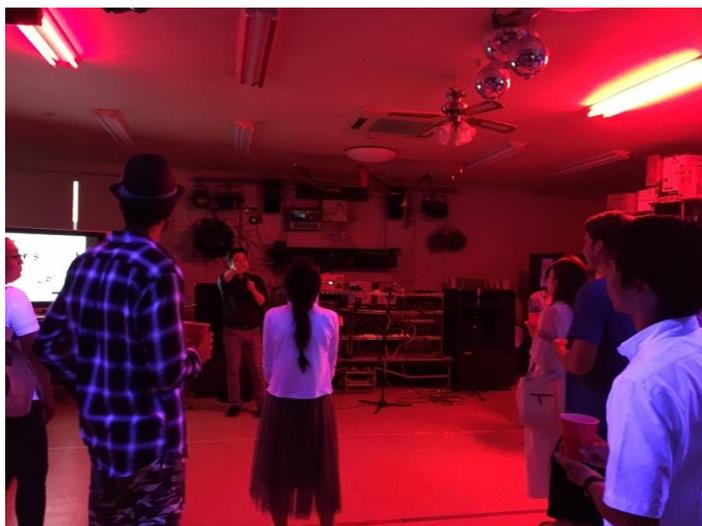
2. 活動内容の振り返り

まず初めにパンフレットを作りました。パンフレットを見た人に何を伝えたいのかを考え、さらに留学生、日本人学生両方の学生の心を掴めるようなデザインを重視したものを、みんなでアイデアを出し合いながら作りました。

また、スクールバスチーム立ち上げに関して私たちの活動をいろんな人に知ってもらうためのパーティーを開催しました。大学付近で場所を借りて、いろんな人に気軽に参加してもらえるようなイベントにしたいと思い、留学生や山口大生などにむけて告知をしていきました。このパーティーでは、留学生はもちろん、山口大学の学生から大人まで、あらゆる人を招待し、私達の活動についてプレゼンテーションを行い、実際に留学生に知らせることができました。その中で、留学生とスクールバスの話で盛り上がり、スクールバス運行に対する留学生の期待の高さを実感しました。このパーティーによって、直接留学生と話し合うことができ、何より私達の活動を知ってもらういい機会になりました。留学生と話す中で、この活動を行う意義を感じることもできました。

9月には活動の方針の見直しと、今後の展望について話し合いました。具体的には、これまで調査してきたYUシェアハウスから山口大学間を走る既存のバスのルートやその利用方法、既にスクールバスを開通している大学などの先行事例研究、また留学生センターが今冬に試験的に走らせるスクールバスの計画について検討しました。

その結果、「留学生センターができていないことのサポート」に徹することに決め、新たに「YU HANDYMAN PROJECT」と私たちの中でプロジェクト名を変えやっていきたいと思います。今回の中間発表、ホームカミングデーを通じて、今までいろいろやってきた自分たちの活動の振り返りを行っていききたいと思います。



立ち上げパーティーの様子

3. 今後の展望

これから、「YU HANDYMAN PROJECT」として二つの活動を新たに行おうと考えています。一つ目は Facebook を使い、留学終了時など、「せっかく買ったがまだ使えるもの」の処理に困っている人と、新しく来る留学生や山大生の中でそれを欲しいと思っている人とをつなぐ場所の提供していくことです。使い方としては Facebook のページに個人で必要のなくなった物品を投稿し、それを必要としている人とやり取りしていく、といったものです。これは実際にアメリカのオクラホマ大学で行われています。現在山口大学でも留学が終わり帰る生徒がまだ使える物の処理に困っているという声をきいたり、新しく来た留学生が安くものを変える場所や譲ってくれる人を探している声を聞いていたので山口大学にも取り入れてみようと思いました。このサイトを悪用されないためにもいくつかルールを作り、日々人が利用しているのか確認することが私たちの役目です。

二つ目は HP の運営です。この HP の使い方は山口大学の留学生に日々の生活で困っていることや、悩みなどを投稿してもらい私たちがその問題を解決していくというものです。小さなことでも気軽に投稿してもらえそうなサイトになるようにデザインなどを工夫し作成しているところです。



アメリカの大学で実際に使われている Facebook ページの一例